

福岡市環境教育・学習計画推進協議会 議事録【要旨】

■日時: 令和4年 11月 17日(木)15:30~17:15

■議事 (1)福岡市の環境教育・学習関連施策について

(2)成果指標の達成状況について(平成 29 年度~令和 3 年度)

「福岡市環境教育・学習計画(第三次)」で定めている9つの基本的方向に基づいて、令和3年度における福岡市の施策の実施状況等及び本計画の成果指標について報告を行い、今後の方向性等について当該協議会委員からの意見を聴取。

<委員からの主な意見>

- 成果指標の1つである市民アンケートについては、聞き方ひとつで回答が変わってくるため、設問は慎重に検討した方がよい。
- 成果指標の達成状況については、増減はあるものの、テレビ等から気候変動やSDGsの情報を得て、気候変動が身近に迫ってきている事を実感し、市民の意識は少しずつ高まっている。
- 博多湾と生物多様性の繋がりなどをテーマにした出前講座の実施、また併せて、アマモなど話題性のあるテーマで出前講座を実施していただくよう検討いただきたい。
- カーボンニュートラルを目指すのであれば、脱炭素型の製品やサービスを選んで購入していくことが、重要になる。福岡市地球温暖化対策実行計画にも位置づけてあるようにしっかり取り組んでほしい。
- リサイクルの対象でないものをお持ちいただく方が多く、何がリサイクルできて、何ができないのか、そういった知識の向上が必要である。
- SDGs、脱炭素社会、海洋プラスチックごみ等環境に関する様々な意識の高まりを実感しており、そういった機運を捉えて行動変容に繋がるような施策を引き続き実施していく必要がある。
- 市民へ周知は、SNSが効果的であると思う。待ちのタイプの環境市民活動交流サイトでは、何か環境に対して良いことをしたいという方々しか利用しない。
- 子どもたちに対する啓発は動画が一番有効である。動画も、長いものではなく30秒程度の飽きないものが有効ではないか。
- 市民への周知について、環境面だけではなく、全く違う分野と組み合わせることで、広がりが見られることがある。視野を広げた考え方が必要ではないか。
- 3Rステーションの取組みが重要になってくるのではないか。プログラムや展示スペース等について検討する余地がある。また、市民の皆さんに 3R ステーションは「体感・体験できる」施設として伝わっているかどうかも含めて検討していただきたい。
- 市内には科学館、動物園、植物園、水族館があり、そういった施設とのネットワークを政策に

活かした方が良い。

- フードドライブについては、自治体の後押しのあるなしで、県民の皆様の動きが全く違う。福岡県や福岡市は、他の自治体と比べると、あまり力が入っていない気がする。
- 現在、学校教育の中で、体験授業ができなくなっている。体験を通して得られる情報は重要であり、復活を検討していただきたい。また、環境意識のある子たちが少人数でも受講できるよう出前講座を充実していただきたい。